

第5回 南毛利いきいき健康教室

『ボッチャ』を体験してみよう

2月17日(金)南毛利公民館にて、神奈川リハビリテーションセンター体育科の鰻田亜矢さんを講師にお迎えし、「南毛利いきいき健康教室 ボッチャを体験しよう」を開催しました。地域の方21名が参加されましたが、ほとんどの方がボッチャ初体験。参加された方からは、「とても楽しかった」、「またボッチャの教室を開いてほしい」、「地域のミニデイで活用したい」などの感想が聞かれました。



ボッチャとは？

ヨーロッパ生まれで、パラリンピック正式種目。障害の有無にかかわらず、お子様からご年配の方まで、楽しくできるスポーツです。3人組のチームを作り、赤チームと青チームに分かれて対戦します。赤、青それぞれ6球ずつボールを投げ、白い目標球に、いかに近づけるかを競うスポーツです。



地域包括支援センターは、地域の皆様の相談窓口です

介護・健康・福祉等の相談をお受けしています。
まずは、右記電話番号にお気軽にご連絡ください。
電話での相談の他、来所、自宅への訪問もできます。

電話

046-250-1108

営業時間

月～金曜 8:30～17:00

土曜 8:30～12:00

担当地区

戸室・恩名・温水・温水西・長谷・愛名・毛利台



高坪ミニデイ『ほほえみ会』



1月26日高坪公民館にて、「ほほえみ会」が開催されました。当日は、ラジオ体操、合唱、ゲームが行われました。合唱では、月の砂漠、知床旅情、四季の歌、今日の日はさようならなど、なじみのある歌ばかり。心が和みますね。指揮をしていた方は、歌の先

生です。また、黒ひげ危機一髪ゲームを行いました。黒ひげが飛び出した方には、お菓子をプレゼント。『ほほえみ会』という名前の通り、皆さんの素敵な笑顔を見ることができました。このように高齢者の集いの場ともなっています。

看護師のたまごたちに向けて講義を行いました

1月25日とうめい厚木クリニックにて、湘南平塚看護専門学校の学生さんに向けて、講義をおこないました。内容としては、介護保険制度、地域包括支援センターの役割、社会福祉士・主任ケアマネージャー・看護職の役割についての講義を行い、入院患者が退院するにあたっての支援についてグループで事例検討をし、発表をしました。看護師を目指して勉強している23名の生徒たちは、皆、真剣に実習に取り組んでいました。「誰かの役に立ちたい」、「病気と闘っている方の力になりたい」、「地域の方々が健康で暮らせる

手助けをしたい」など、一人一人の思いはそれぞれです。国家試験まであと1年。皆さんが看護師として働く姿を見られる日を楽しみにしております。



新スタッフ紹介



松崎 雅典

(まつぎ まさのり)

令和5年3月より介護支援専門員として配属となりました。ご相談がある時は、何らかの困りごとや気がかりがあると思います。身近な存在として話していただけるような存在になりたいと思います。お一人お一人のご意向にそって安心して生活ができるよう精一杯支援させていただきます。介護保険を一つの手段として、少し先の見通しや安心感が持てると良いなと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

ケアマネカフェはじめました

南毛利ケアマネ連絡会にて、「ケアマネ同士、事業所を越えて交流・情報交換をしたい」との声をうけ、ケアプランあいなさんが「主催者引き受けます！」と声をあげてくださり、ケアマネカフェが始まりました。2か月に

1回、1時間程度、公民館やオンラインで集まることになり、2月はオンラインで、地域資源、BCPや加算のことなど、話が弾み、あっという間に時間が過ぎてしまうほどでした。



今年も例年より多くの花粉が飛ばようです。私もくしゃみをしながら、歩き始めた1歳半の息子と咲き始めた桜を見にせつせと公園に通ってます。花粉症と桜で春の訪れを感じています。

スタッフのつぶさき

